学校番号	３０５

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書道Ⅰ」（東京書籍）						
副教材等	改訂 基本ペン習字（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小・中学校の書写で学んだことを発展させ、書道Ⅰでは用具用材の違い、書道の歴史、表現の相違を学びましょう。
・用筆・運筆の基本を理解した上で、様々な書き方の様式（書体）を体験し、筆を使いこなし、自分らしい文字を書くことが出来るようになることを目指します。
・作品の制作過程を振り返ることや、出来上がった作品を展示し、鑑賞することにより多様な書作品のあり方を理解し、自身の感性を一層高めましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
書表現の多様性を幅広く理解し書写能力の向上、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的能力を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫する。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に書の幅広い活動に取り組み生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに完成を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	ガイダンス	書道Ⅰの学習についてのガイダンス	a:線質、字形、構成等の要素と表現効果のかかわりについて理解している。 b:漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現など工夫している。 c:自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの書の特質に基づく表現する幅広い表現活動に主体的に取り組もうとしている。			取り組み
		教科書の内容を鑑賞			プリント	
		用筆の基礎(書写の復習)		作品		
		ことわざを書く(漢字仮名交じりの書)大筆の筆先を生かして半紙に書く		作品		
	漢字の書	楷書の学習 (1)孔子廟堂碑 (2)九成宮醴泉銘 (3)雁塔聖教序 (4)自書告身 (5)牛橛造像記 (6)鄭羲下碑 (1)～(4)は1作品選択	a:用筆・運筆から生み出される書の表現とその表現効果とのかかわりについて理解すること。 b:目的や用途に応じて書体が変遷しその表現方法の違いについて理解を深め、また自身による表現方法を工夫し表現力を高める。 c:自身の表現の意図に基づく表現、書体・書風の特質に基づいて表現する幅広い表現活動に主体的に取り組もうとしている。	作品	プリント	取り組み
		行書の学習(7)蘭亭序		作品	プリント	取り組み
		篆刻の学習		作品	手順	取り組み
		臨書作品制作(1)～(7)から選ぶ。題材選定、試作、書き込み。		作品	計画性	取り組み
2学期	作品制作(臨書)	臨書作品制作 (作品発表会・プレゼン)	a:書を構成する要素について、それら相互の関連がもたらす働きと関わらせて理解すること。用筆・運筆から生み出される書の表現性とその表現効果とのかかわりについて理解する。	作品	プリント	取り組み
	仮名の学習	仮名の学習 仮名用筆、単体、連綿 古筆に学ぶ 古筆の鑑賞 古筆の臨書 短冊に書く 散らし書き(構成の工夫) (年賀状)	b:用具・用材の特徴と、線質や書風と用筆・運筆の関わりを理解し、連綿と単体、線質や字形を生かした表現技能を身につける。 c:自身の表現の意図に基づく表現、仮名の書の特質に基づくひょうげんする幅疲労表現活動に主体的に取り組もうとしている。	作品	プリント	取り組み

	漢字仮名交じりの書の学習	漢字仮名交じりの書の学習 ・制作手順を学ぶ (1)名文を書く (2)故事成語 (3)俳句 (4)名言 (5)歌(唱歌) (1)～(5)とも題材の選定、構想を考え制作	a:書の表現方法や形式、書表現の多様性について理解を深めている。文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、使途に基づいた表現など工夫している。 b:書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。 c:主体的に書の表現及び鑑賞の創造的な活動に取り組もうとしている。	作品	プリント	取り組み
3学期	作品制作(書初め)	書き初め(四字句を制作) 題材選定 作品計画 草稿 試作・反復練習 半紙と画仙紙 1/8 に書く	a:書の表現方法や形式、書表現の多様性について理解を深めている。文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、使途に基づいた表現など工夫している。 b:書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。 c:主体的に書の表現及び鑑賞の創造的な活動に取り組もうとしている。	作品	作品計画書	制作態度 取り組み
	発表会(作品鑑賞会)ふり返り	作品発表会(プレゼン)	a:書の表現方法や形式、書表現の多様性について理解を深めている。 b:書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。 c:主体的に書の表現及び鑑賞の創造的な活動に取り組もうとしている。	発表	ワークシート	発表の様子
		作品展示		手順にしたがって仕上げる	プリント	取り組み
		1年間のふり返り		降りけりシート	プリント	取り組み

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度